(イ)　同時に送信する各搬送波のチャネル間隔の組合せが、五MHzと一〇MHzの組合せの場合

希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）一四・九五MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）一四・九五MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする一三・九五MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より二九デシベル以上低い値であり、かつ、希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）二九・九MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）二九・九MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする一三・九五MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より三五デシベル以上低い値であること。

(ウ)　同時に送信する各搬送波のチャネル間隔の組合せが、五MHzと一五MHzの組合せの場合

希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）一九・八MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）一九・八MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする一八・三MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より二九デシベル以上低い値であり、かつ、希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）三九・六MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）三九・六MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする一八・三MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より三五デシベル以上低い値であること。

(エ)　同時に送信する各搬送波のチャネル間隔の組合せが、五MHzと二〇MHzの組合せの場合

希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）二四・九五MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）二四・九五MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする二二・九五MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より二九デシベル以上低い値であり、かつ、希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）四九・九MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）四九・九MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする二二・九五MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より三五デシベル以上低い値であること。

(オ)　同時に送信する各搬送波のチャネル間隔の組合せが、一〇MHzと一〇MHzの組合せの場合

希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）一九・九MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）一九・九MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする一八・九MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より二九デシベル以上低い値であり、かつ、希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）三九・八MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）三九・八MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする一八・九MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より三五デシベル以上低い値であること。

(カ)　同時に送信する各搬送波のチャネル間隔の組合せが、一〇MHzと一五MHzの組合せの場合

希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）二四・七五MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）二四・七五MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする二三・二五MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より二九デシベル以上低い値であり、かつ、希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）四九・五MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）四九・五MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする二三・二五MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より三五デシベル以上低い値であること。

(キ)　同時に送信する各搬送波のチャネル間隔の組合せが、一〇MHzと二〇MHzの組合せの場合

希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）二九・九MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）二九・九MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする二七・九MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より二九デシベル以上低い値であり、かつ、希望波を定格出力で送信し、希望波から（±）五九・八MHz離れた変調のない妨害波を希望波の定格出力より四〇デシベル低い送信電力で加えた状態で、希望波から（－＋）五九・八MHz（複号同順とする。）離れた周波数を中心とする二七・九MHz幅の周波数に輻射される電力が希望波の定格出力より三五デシベル以上低い値であること。